

# ニュースーパーインシュの取り付け方法

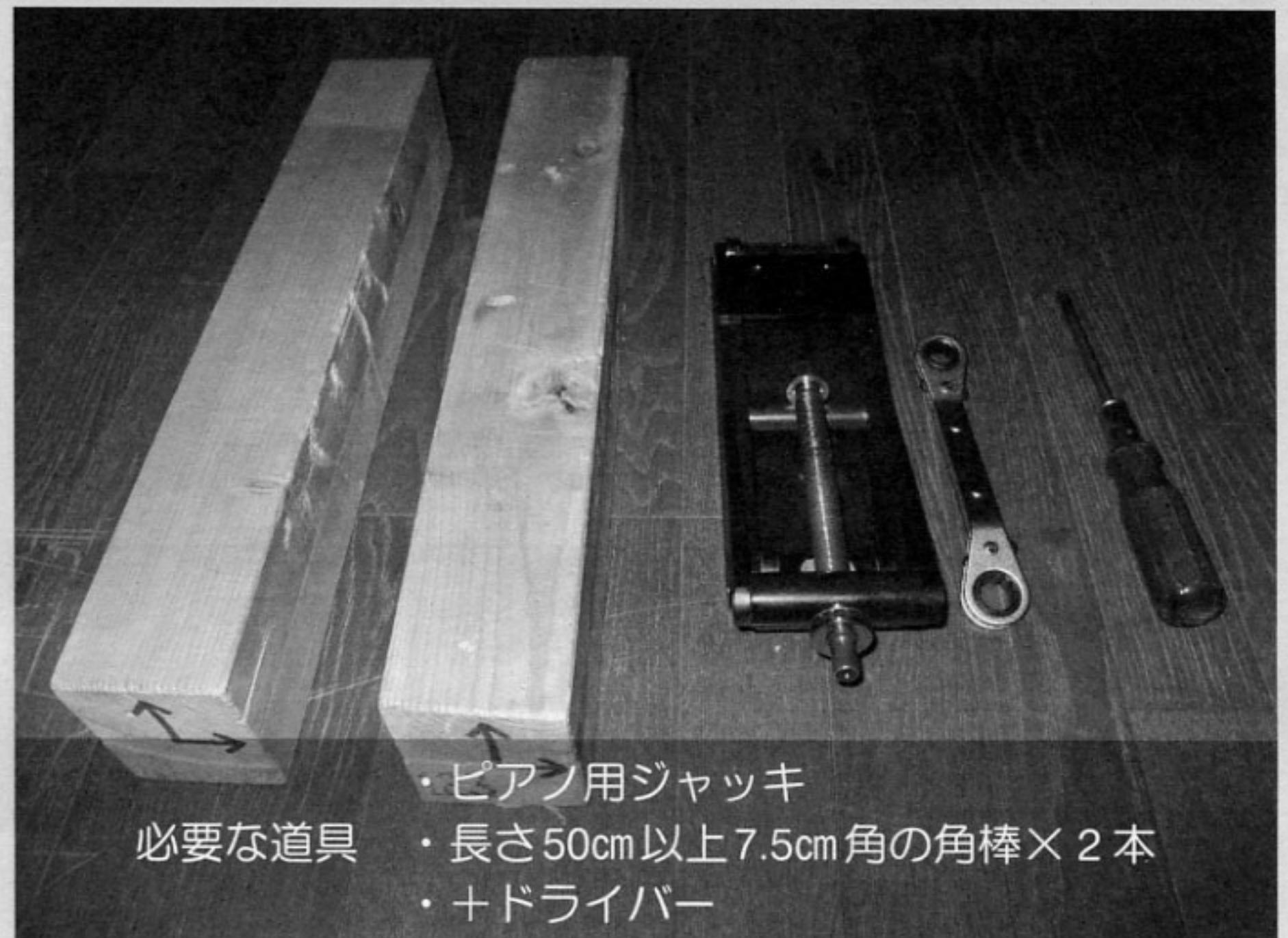
＜当社が推奨する取り付け方法＞

※当製品の取り付け等の作業は、必ずこの装置の特長と取り扱い方をよく理解した、当社製品取扱い業者が行ってください。  
ピアノは重量があり危険性を伴いますので、一般の方の作業はおやめください。

## はじめに



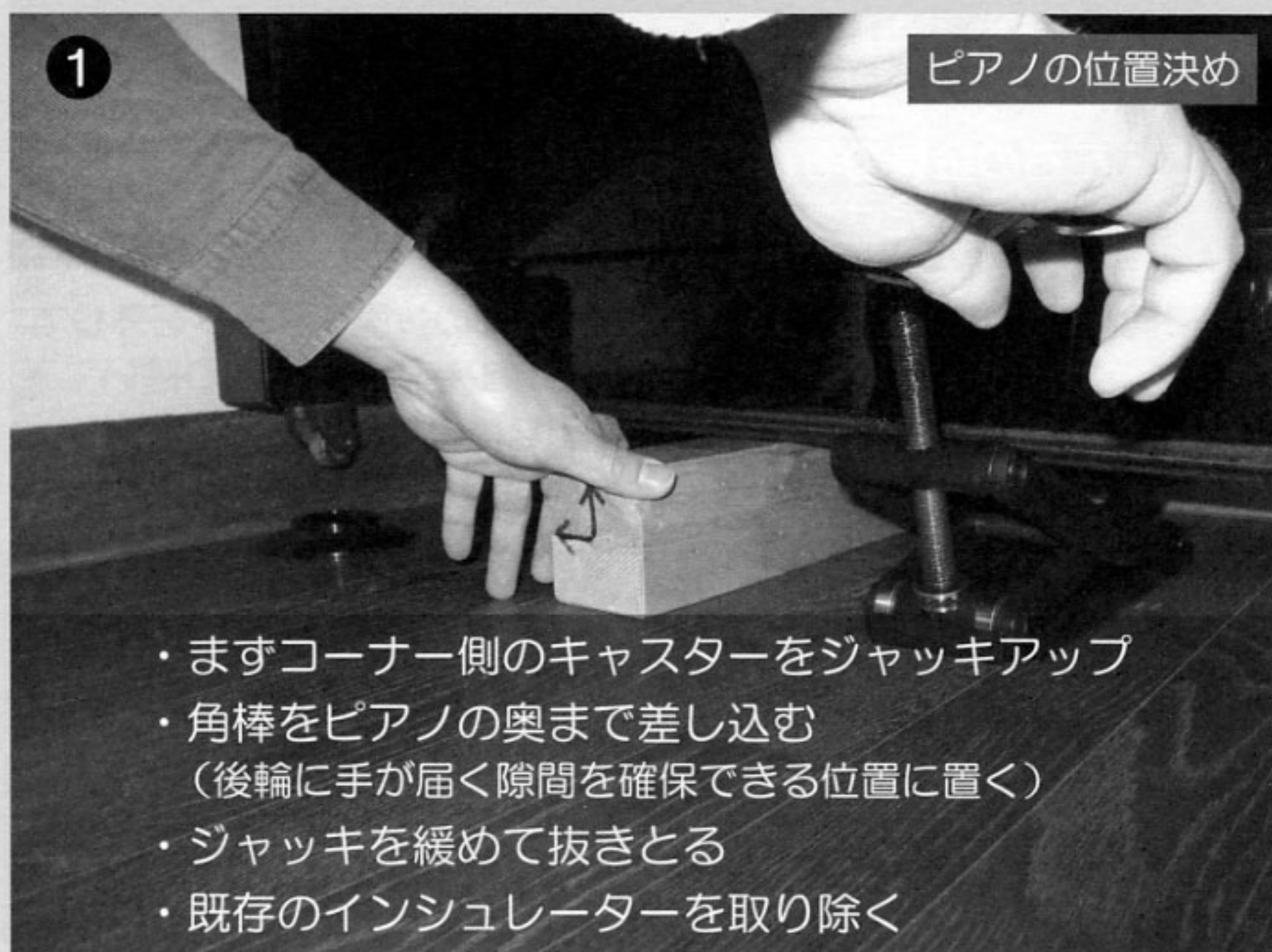
一般家庭でよくある、部屋のコーナーに置かれたピアノへの取り付け方法をご紹介します。



必要な道具  
・ピアノ用ジャッキ  
・長さ50cm以上7.5cm角の角棒×2本  
・+ドライバー

## 取付け作業

後輪用インシュレーターに急な衝撃を与えないように充分注意してください



1

ピアノの位置決め

- ・まずコーナー側のキャスターをジャッキアップ
- ・角棒をピアノの奥まで差し込む  
(後輪に手が届く隙間を確保できる位置に置く)
- ・ジャッキを緩めて抜きとる
- ・既存のインシュレーターを取り除く



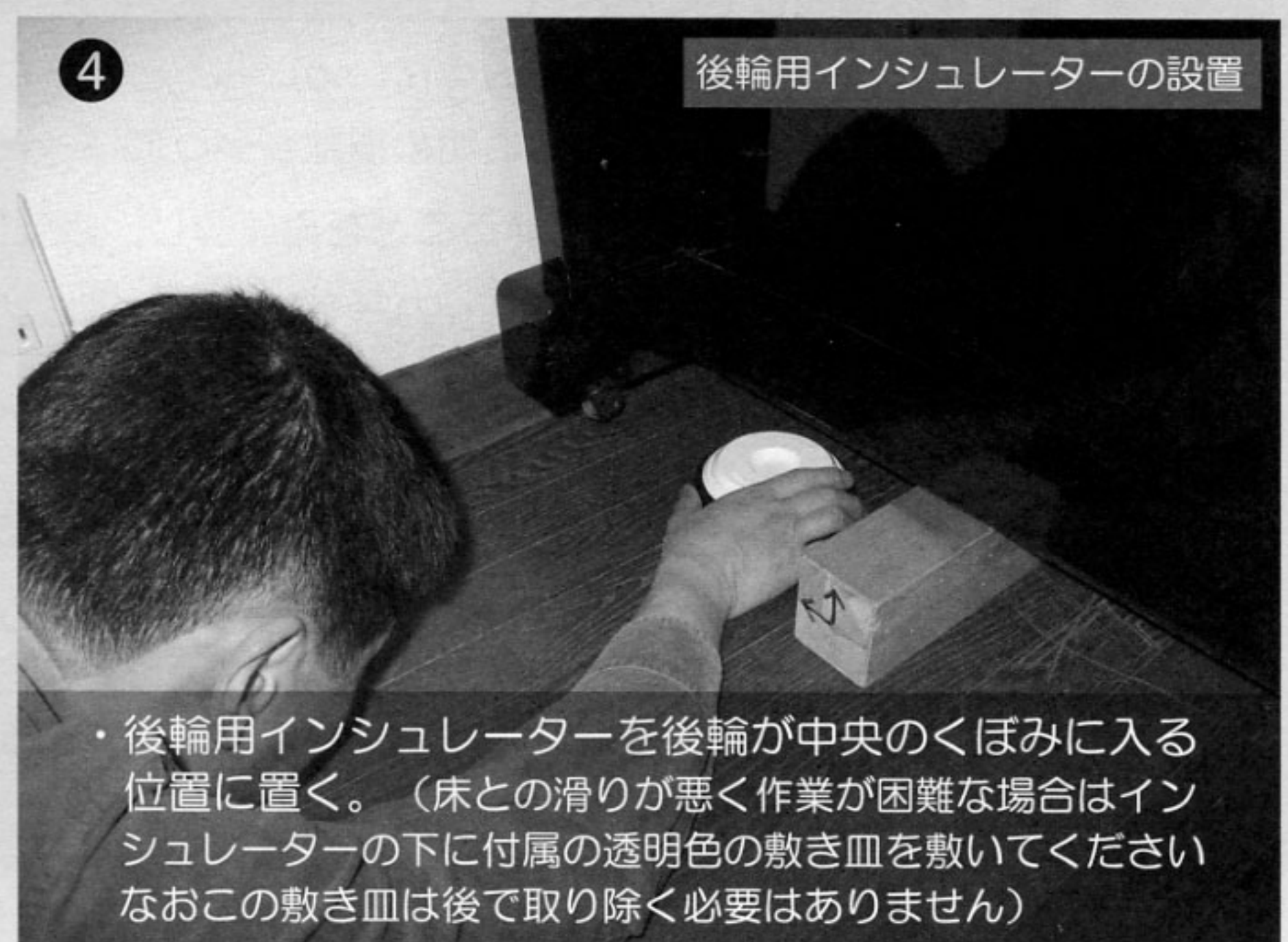
2

- ・①と同様の手順で対称な位置にも角棒を差し込む
- ・後方の壁から8cm程度の距離までピアノを前へ滑らす



3

- ・ピアノの位置を後方の壁から6~9cmの範囲内で  
左右(低音側と高音側)を同一の間隔にする



4

後輪用インシュレーターの設置

- ・後輪用インシュレーターを後輪が中央のくぼみに入る  
位置に置く。(床との滑りが悪く作業が困難な場合はイン  
シュレーターの下に付属の透明色の敷き皿を敷いてくださ  
いなおこの敷き皿は後で取り除く必要はありません)



## 取付け作業のつづき



【7補足】前輪の直径が大きすぎて⑤で抜いたネジが通らない場合は、段階的に調整することができます。まず金具内部の金属チューブを外してそのチューブの中を通っているネジだけの状態にします。それでも無理な場合は、チューブとその中を通っているネジを両方とも取り除いて下さい。また、前輪の形状によっては、キャスターの側面と金具との間に隙間が生じますが、前輪が金具から抜け出なければ問題ありません。もし隙間が広すぎる場合はネジを締め込んで隙間を縮めて下さい。

### 9 取り付けた後の確認と作業（必ず行ってください）

- ・前輪用金具の各ネジの締め具合を再確認し、必要に応じて増し締めする。
- ・ピアノが前方に傾いていないことを確認する。傾いている場合、後輪用インシュレーターの中央に後輪がうまく納まっていない可能性があります。このような場合は、後輪用インシュレーターに衝撃を与えないようジャッキ等を使い慎重に対処して下さい。また、床が原因で傾いてしまう場合は、薄板を用意し床とインシュレーターの間に挟み調節して下さい。なお、同梱の透明の樹脂製受け皿は後輪用です、この目的に使用しないでください。
- ・左右どちらかの前輪がインシュレーターから浮いている場合があります。このような場合も薄板を用意し同様に対処して下さい。なお、透明の樹脂製受け皿は、この目的にも使用しないでください。
- ・③の位置条件を満たしていることを再確認し、必要に応じて①②の手順で調整する。
- ・最後に付属の「警告」のステッカーを目立つ位置に貼る。
- ・説明書、取り付け方法等の書類一式をお客様へ手渡し、保管を義務づけてください。

#### ※ 本製品装着後にピアノを移動させる時の注意

後輪用インシュレーターに余分な負荷が加わり耐久性が損なわれ誤作動する恐れがありますので、ピアノの移動は近距離であっても、必ずジャッキアップ等により後輪用インシュレーターにピアノの加重がかからない状態にしてから行ってください。またこの他の場合でも、インシュレーターに余分な負荷が加わらないようご注意ください。